

久留米大学と人。みんなをつなげる、みんながつながる。

EQUAL

Kurume University

No.217

AUTUMN

2026年(令和8年)10月1日

特集

「昔のキャンパス、今のキャンパス。」



a trip back in time

久留米大学 広報誌 EQUAL | No.217
発行所 久留米大学 総合企画部広報室 〒830-0011 福岡県久留米市旭町67
TEL 0942-31-7511 FAX 0942-31-7718



旭町キャンパス(医学部)

10/23 FRI 24 SAT 25 SUN

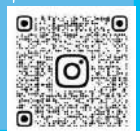
Instagram
@ANOKU59_KURUME_ASAHI



御井キャンパス(文系)

10/31 SAT 11/1 SUN

Instagram
@ANOKU59



久大人図鑑

Vol.25

このコーナーでは、
久留米大学で働くさまざまな
人を紹介していきます。



芳野 和也 さん

財務部用度課

広い視野を持ち、信頼され
周囲に好影響を与える存在を目指して

現在は財務部用度課に所属し、業務委託や貸借といった多様な契約の伝票処理、印刷物や被服の管理を担当しています。大学には本部や学務、病院など幅広い領域があり、部署間の異動を通じて様々な仕事を経験できることが大きな魅力です。大学の運営を通して地域社会や学生に貢献したいと考え、入職しました。

仕事では、自分の担当業務に留まらず、大学全体の財政や社会の動向に目を向ける経営者意識を持つことを大切にしています。昨年、経理事務研究会で石川県へ出張した際は、他大学の先進的な取り組みを学び、自校を深く知る貴重な機会となりました。

早寝早起き、朝の散歩、昼休みの筋トレ、寝る前の読書を習慣化してやり続けるなど、日々向上心を持って生活するよう心掛けています。最近はマルチタスクも少しずつこなせるようになってきた、かな。今後、常に自分を客観的に見つめ、周囲から信頼され、良い影響を与えられるスタッフを目指して学び続けます。

1966年頃



2026年現在



特集

昔のキャンパス、 今のキャンパス。

TIME TRAVEL

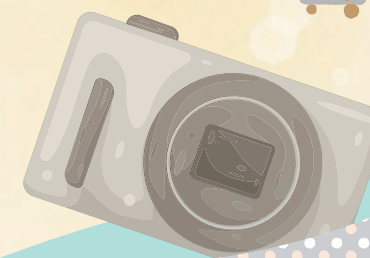
かつてこの場所には、どんな風景が広がっていたのでしょうか。
大学に残された昔の写真と、2026年の現在を見比べながら、キャンパスの風景をたどります。
変わったもの、変わらないもの。その一つひとつに、久留米大学が歩んできた時間が刻まれています。

10の場所をめぐる 時間旅行へ出発！

a trip back in time

① 旭町 医大通りを南へ

約60年前、附属病院の総合外来棟(内科系)から市役所方面へ向かう「医大通り」を撮影した一枚。
1964年に完成した総合外来棟からは、当時の旭町周辺の風景を見渡すことができます。
写真中央付近に見える西鉄バスのロータリーは、現在ではコンビニと郵便局に。
その先、現在の総合診療棟が建つ場所には、当時はプリチストンの社宅が並んでいました。
一方、撮影地点となった総合外来棟は、現在も医学部B棟として活用されています。



KURUME UNIVERSITY

EQUAL

No.217
AUTUMN

EQUAL=イコールとは、「対等な」「平等な」や「同輩」という意味を持ちます。全ての人たちにに対し、等しく『つながり』や『出会い』を、という願いがタイトルに込められています。

久留米大学 公式SNS



久留米大学の基本理念

真理と正義を探究し、人間愛と人間尊重を希求して、
高い理想をもった人間性豊かな実践的人材の育成を目指すとともに、
地域文化に光を与え、その輝きを世界に伝え、
人類の平和に貢献することを使命とする。

CONTENTS 〈目次〉

01	昔のキャンパス、今のキャンパス。
06	水の祭典久留まつり「一万人のそらばん総踊り」に参加
07	拝啓 17歳の私
08	Clubs & Circles / 留学生必携EXPO
09	就職通信
10	活躍する卒業生
11	ようこそ! 研究室へ
12	附設だより

13	食べるチカラ!
14	シリーズ医療
15	ホームカミングデー開催報告
16	久留米大学 一そのはじまりー
17	寄付者ご芳名
18	新任教授紹介
19	Topics
21	まちとアルK/SDGs×久留米大学
22	INFORMATION
裏表紙	あのく祭告知/久大人図鑑

5 旭町 大学病院入口



旧附属病院の総合外来棟前にあったロータリーから、旧附属病院本館の入口付近を撮影した一枚。特徴的な3連アーチの玄関が印象的です。現在、この場所には病院本館が建ち、アーチ玄関付近には高度救命救急センターがあります。写真左手奥に見える東西病棟も現在は姿を消し、その跡地には病院北館が建っています。

玄関のアーチ



旧附属病院の正面玄関を彩った3連アーチ。現在は病院本館西側にモニュメントとして保存され、啓発活動に合わせてライトアップされることもあります。

6 旭町 ブリヂストン社宅から旭町キャンパス



ブリヂストン社宅から旭町キャンパスを望んだ一枚。写真中央の陸橋は、総合外来診療棟（現・医学部B棟）と旧病院（現・病院北館）を県道をまたいで結ぶために造られたそうです。かつては白色だった陸橋も、現在は茶色に。

ブリッジ・ユニバシティ

県道をまたぐ陸橋は、トンネル案も検討された末、水害への備えなどから架橋が選ばれました。落成式では当時の石橋正二郎理事長を前に「ブリッジ・ユニバシティ」とも表現されたそうです。

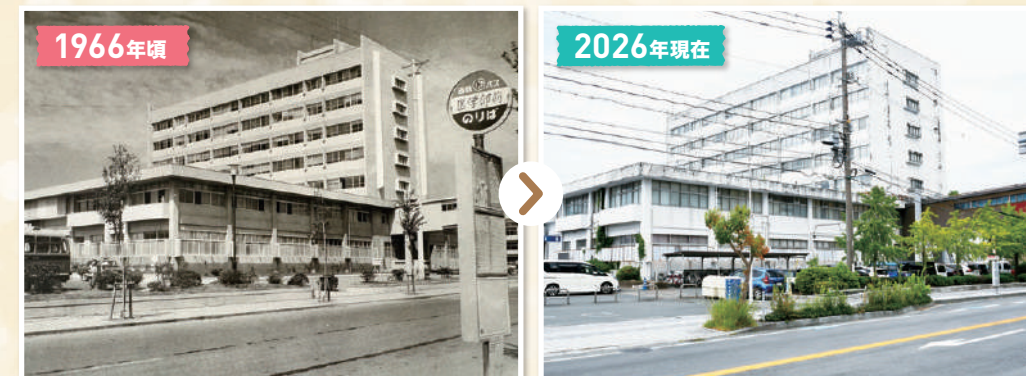


7 旭町 篠山城前交差点付近



篠山城前の交差点付近から、旧病院本館南側を望んだ一枚。現在は高度救命救急センターの南側にあたります。ここから大学本館前にかけて敷地の境界に並ぶ背の低い松は、当時も今も変わらない風景のひとつ。背丈を抑えるため、現在も丁寧に手入れされています。なぜ手入れの難しい松が選ばれたのか…その理由は謎にまつまれました。

2 旭町 医学部前バス停から



医学部前のバス停から、総合外来棟（内科系）を望む風景。前ページの写真にも登場した総合外来棟は、約60年を経た今もほぼ変わらない姿で残っています。一方、建物前の道路はきれいに舗装され、歩道と車道が整備されました。当時のバス停は、総合外来棟の移転に伴い約150メートル北側へ移動しました。

バス停の名称



バス停の名称は現在も「医学部前」のまま。現在、総合診療棟のロータリーにあるバス停には新しく「大学病院」の名称が付けられています。



3 旭町 大学本館周辺



昔の基礎医学研究棟から大学本館を望んだ一枚。写真中央の三角屋根が大学本館で、現にも当時の姿を残し、国の登録有形文化財に指定されています。本館手前の木造研究棟はなくなり、現在はその跡地に医学図書館が建っています。撮影地点の基礎医学研究棟も解体され、現在は教育1号館に。ロータリーの木々は大きく成長し、緑豊かな風景を作っています。

ヒポクラテスの木

「医学の父」「医聖」と呼ばれる古代ギリシャの医師ヒポクラテス。その名を冠したプラタナスは、医学を学ぶ者にとって特別な存在です。本学の「ヒポクラテスの木」は、当初医学図書館前のロータリーにありましたが、現在は教育1号館前へ移植され、学生たちを見守っています。今後予定されている医学部新校舎の建設に際しては、この木から作ったクローンを新校舎付近に植樹する予定です。



医学図書館前のロータリー
最初に木があった場所

現在の木の位置
（教育1号館前）

4 旭町 篠山城跡から医学部総合グラウンド



篠山城跡からグラウンドを望んだ一枚。かつて土だったグラウンドは、現在は人工芝に整備されています。2010年に病院本館が完成するまでは、ドクターヘリのヘリポートとしても使われていました。また、石垣のそばにある木は約50年の間に大きく成長。同じ画角で撮影すると、枝葉に遮られて現在は校舎がほとんど見えなくなっています。

第55回 水の祭典久留米まつり

「一万人のそろばん総踊り」に参加

学生・教職員91名が参加し、久留米の夏を盛り上げました。



出陣式から、いざ本番へ

2026年8月4日、第55回水の祭典久留米まつりが開催されました。

久留米大学からは学生・教職員91名が参加。コロナ禍以降初めてとなる出陣式を大学本館で開催し、ご来賓の皆さまにもご臨席いただきました。

本番の前に、参加者の気持ちもひとつに。4名が参加者を代表して宣誓を行い、祭りへ向かう機運を高めました。

そろばんを手に、会場へ

出陣式終了後、参加者はそろばんを手に祭り会場へ移動。沿道には多くの観客が集まり、会場は熱気に包まれました。

参加者は、伝統的な「そろばん踊り」に加え、アレンジが加えられた「そろばんパンパン」「サンバでそろばん」の3曲を踊りながら歩行者天国となった明治通りを元気にパレードしました。



大きな拍手と歓声に包まれて

事前の練習の成果もあり、当日は息のぴったり合った、笑顔あふれる演舞を披露。参加者同士が声を掛け合いながら踊る中で、職種や年齢を超えた交流も生まれました。

さらに、初参加の内村直尚学長が、最も輝いていた個人に贈られる「あなたが大賞」を受賞。参加者からは大きな拍手と歓声が送られ、祭りの盛り上がりも最高潮に。

地域の伝統ある祭りを一緒に盛り上げることで、大学とまちとのつながりを改めて感じる一夜となりました。

地域とともに

久留米大学は今後も地域とのつながりを大切に、さまざまな活動を通して地域の活性化に貢献してまいります。



8 御井

御井キャンパスから見える高良山



御井キャンパスのグラウンドから高良山を望んだ一枚。現在は1000号館の上階から、同じ方向の風景を見ることができます。手前には900号館、奥にはテニスコート、その先には御井の住宅街が広がっています。遠くに見える山の輪郭は、今も変わりません。



9 御井

御井本館へ向かう階段

東門から続く並木道

写真の右手前、並木道の終わりに見える赤い屋根は電話ボックスです。かつては学生や教職員の連絡手段として身近にあった公衆電話も、今ではスマートフォンの普及とともにこの場所から姿を消しました。



1986年頃



正門から奥に進むにつれて丘を上るような地形が特徴の御井キャンパス。大規模なキャンパス整備で多くの建物が姿を変える中、この階段は今も残る数少ない「昔の風景」です。現在は800号館と御井学館の間に位置し、その先には御井図書館が見えます。当時、この階段の先にあったのは、今はもうない400号館。図書館は、現在の御井本館が建つ場所にありました。



2026年現在

10 御井

御井学館



かつては白い外壁にえんじ色のラインがアクセントとなっていた御井学館。現在は濃い青色がアクセントカラーの外観へと姿を変えています。1階には学館食堂、2階には売店や書店、3階には大ホールがあり、今も学生たちの生活を支えています。外壁の色が青く変わってからは、学生食堂「ZIP」の前にあることから、「青ジップ」と呼ばれることもあったとか。



2026年現在

胃袋も青春真っ只中

こちらは、1986年発行の大学案内で御井学館の学生食堂を紹介したページのキャッチコピー。定食240円、素うどん100円という驚きの価格。隠れた人気メニューは「スペシャル焼きめし」(380円)。カツがのった焼きめしにスパゲッティまで添えた、まさに青春ど真ん中の一皿だったそうです。



1986年頃

CLUBS&CIRCLES

クラブ紹介：旭町キャンパス
医学部管弦楽部

名物メンバー

／なんとかなる！



てんてん
(医学科2年)

出身県

鳥取県

高校時代の部活
オーケストラ部

趣味

楽器演奏、
音楽鑑賞、
犬鑑賞

／チャロに夢中！



弦
(医学科1年)

出身県

大阪府

高校時代の部活
チア部

趣味

ゲーム実況を
みること

活動内容

週に2回活動しており、火曜日は指揮者の先生をお招きしての合奏練習を、金曜日はパート練習や個人練習を行っています！

クラブの雰囲気

音楽だけでなく、勉強を教えあったり、趣味について語り合ったりするような、過ごしやすい空気が魅力です！

目標

音楽や楽器を弾くことの楽しさをもっと知っていただくために、これからも一生懸命頑張ります！

医学部 医学科 3年

しゅう まい
首藤 舞さん

DATA

- 部員数／46名
- 活動場所／部活棟2階 管弦楽部室
- 大会出場歴・試合結果／
あおく祭での演奏、老人ホーム慰問、学会演奏、
大学行事演奏、公共施設での演奏

Instagram



KURUME.MED.ORCHESTRA

留学生必携 EXPO!

このコーナーでは久留米大学に来ている外国人留学生と、
久留米大学から世界へはばたく学生を交互に紹介しています。

「心を開けば道が開ける」学びも遊びも全力で挑んだ留学生活

アメリカ留学の目標は、TOEIC800点突破と「人と積極的に話せるようになること」でした。

現地ではチューターやサッカー部の仲間に恵まれ、寝る時以外は常に一緒に過ごしました。疑問があればいつでも前向きに励ましてくれる仲間のおかげで、相手のためにも自分の意見を伝える大切さを学びました。

後期には「現地学生と同じ授業を受けたい」と教授に直談判し、成績基準をクリアして経済学部での授業を受講。心を開いて一生懸命やると道が開けるという体験が重なり、勉強も遊びも楽しくてたまりませんでした。

不安など吹き飛ばすほどワクワクに満ちた毎日の中で、当初の目標も達成できました。この経験を胸に、今後はビジネス資格の取得や新たな夢へ挑戦、社会で自分らしく活躍したいです。

かけがえのない仲間！

留学から半年が経ち、友達が僕に会いにアメリカから遊びに来てくれました！

スポーツは世界共通のコミュニケーション

サッカー部に入学して、たくさん仲間ができました。「修士(しゅうと)がシュート！」はみんなが言ってくれます。笑

拝啓17歳の私



大学生の私から、17歳の私に向けてメッセージを送ります。

つがわ しゅうた
津川 秀太 さん
医学部 看護学科 3年

17歳の私へ

高校生活と部活動は頑張っていますか。進路のことも考えながら毎日忙しく過していると思います。私は今、大学3年生になり、9月から専門実習が始まりました。学ぶことが多く大変な毎日ですが、高校時代に努力した経験が今の自分を支えてくれています。これから先、たくさんの人と出会い、多くの人に支えられます。そのため、周囲への感謝の気持ちを忘れず、「今」という時間を大切に過ごしてください。目標に向かって一歩ずつ進んでいけば大丈夫です。これからも応援しています。

大学生の私より

野球部のみんなと！



はまっていること

高校時代
↓
現在

将来住みたいの家の
間取り画像を保存すること
↓
海外一人旅

頑張っていること

大会で背番号をもらうために
毎日練習に励んでいた
↓
各領域の専門実習

部活(サークル)

硬式野球部
↓
大学外の草野球チーム

将来の夢

看護師
↓
フライトナース

17歳の私へ

部活と勉強との両立がうまくいかず、周りとは違って劣等感を抱くことも多かったと思う。だけど福祉の現場で活躍する両親の背中を見て、自分もそうでありたいと道を決めた今の私は、自分自身を理解し、自分で選択し、その選択に責任を持ちながら歩んでいる。そして、久留米大学で自分の強みを生かし、自分らしい形で社会の中に居場所を見つけることができています。劣等感は弱さではない。それは成長したいという気持ちの表れであり、強みであり、自分の一部だよ。だから焦らなくていい。今の君が積み重ねているすべてが、未来の自分を支える力になっているよ。 大学生の私より



テニス大会の表彰式、
まだコロナ禍でした

ふくやま ゆうだい
福山 雄大 さん
文学部 社会福祉学科
3年

はまっていること

高校時代
↓
現在

スポーツ
↓
新しい経験をする

頑張っていること

部活動
↓
社会福祉の勉強

部活(サークル)

ソフトテニス
↓
ボランティア：久留米市少年の翼

将来の夢

スポーツトレーナー
↓
社会福祉士

「理不尽」に挑み、
社会を動かす。

さまよい続けた
大学生活で見つけた、
声を上げられない人に
寄り添う記者の視点。

大分合同新聞社
報道局
は や ま そ う へ い
羽山 草平さん
法学部 法律学科 2005年度卒業

活躍する卒業生

さまざまな分野で活躍されている
卒業生を紹介します。

私の記者への道は、就活で採用試験に落ち、流れ着いた大学院進学から始まった「偶発性」の連続でした。人生は何が起きるか分かりません。世の中は若者のチャレンジに寛容です。もし「人と違う人間」になりたいのであれば、周囲のトレンドを追うだけでなく、あえて人と違う世界や価値観に触れ、自分を磨いていってください。

若者の「特権」を生かし、
人と違う世界や価値に触れよ

大学の講義は面白く、どんどん自分の関心も広がっていき、3年次には前田俊文教授のゼミに入りました。政治の話題が尽きない時代背景の中、寛容な先生のもとで仲間と好き放題に議論した経験が、私の原点です。当時の学びは、多様な意見に耳を傾け、世間の無関心な人々に向け、複雑な問題をいかに分かりやすく伝えるかという「対話」の姿勢として今も生きています。

自由な議論と対話の経験が、
無関心な層へ届ける言葉の土台に



学びの渴望と「問い」に向き合った日々

どうも集団生活が性に合わず不登校気味の子も時代でしたが、高校生になり将来のことを考えはじめた頃から勉強に真剣に取り組み、大学に進学しました。大学では、サークルやバイトには目もくれず、とにかく講義を貪欲に履修しては、アパートで食うように本を読み、夢中になって海外サッカーを観る日々。今思えば、自分を変えようと模索し、さまよっていたのだと思います。人と群れることが苦手で未熟な人間でしたが、そんな私を面白がり、受け入れてくれる友人にも出会いました。何者でもなかったあの時間は、自分の内面を見つめることができた貴重なモラトリウムでした。

私の好きなもの /



フットサルは、体を動かす楽しさだけでなく、普段交わらない人々と交流できる時間にもなる大切な趣味です。

当事者の声を可視化し、社会を動かす。
地方から世界へ挑む覚悟

新聞記者は、問題提起ができる仕事です。私は報道部で、厳罰規定の「危険運転致死傷罪」が適用されず、法の壁に苦しむ遺族を4年以上にわたり取材し続けました。その実態報道が、今年6月の法改正へとつながりました。世の中の理不尽に対し、自ら声を上げられない人の代わりに問題を可視化することに大きなやりがいを感じています。地方都市に身を置きながらも、記事一つで日本全国、さらには世界という大きな舞台に影響を与えられることが、この仕事の醍醐味です。

この記事で
第3回新聞労連
ジャーナリズム大賞の
優秀賞を受賞



就職通信



就職活動に向けて必要な準備がこのイベントで完結！

久留米大学 就勝フェス開催!!

昨年度延べ660名の学生が参加し、

大きな盛り上がりを見せた「就勝フェス」。今年度も御井キャンパス内で開催します。

このイベントは、学生の就職及びキャリア形成の支援を目的とし、

早期から不安を解消しながら「ワンストップ」で就職活動に向けた対策ができる学内最大規模のイベントです。

各種プログラムが充実!!

自己分析に係るセミナーから、内定者の体験報告会、企業人事担当者による模擬面接まで2日間で計20のプログラムを実施します。今年度は11月を～学ぶ編～、12月を～つなげる編～と位置づけ、参加した学生がより段階的に就活に向けた準備ができるようになりました。公務員を目指す学生のためのプログラムも準備しているため、1年生から3年生までの全員に参加を推奨しています。

開催日 11月7日(土)・12月5日(土)

場所 御井本館2階～4階

時間 10:30～17:30

詳細はこちらから▶▶▶



昨年度の参加学生の声



昨年度の様子は大学HP内で公開中!!
就勝フェスの様子を詳しく見てみましょう!

記事は右のQRコードから参照できます。▶▶▶▶▶



ジヨブフェス 開催報告

低年次から将来を考える機会を提供することで、
学生一人ひとりの納得のいく進路実現を
強力にバックアップしていきます!



7月15日、御井キャンパスで「久留米大学ジヨブフェス」を開催しました。この催しは、学生の自己分析や業界研究を助けるために企画し、大手企業を含む9社の人事担当者が参加しました。プログラムは、就職活動の基礎講座から学生が主体となって運営する企業説明会、さらには対話形式の交流会まで多岐にわたり、約300名の学生が参加し、専門家との質疑応答やパネルディスカッションを通じて、職業選択の視点や社会で必要なスキルを学びました。

参加企業 アクセンチュア(株)、(株)エイチ・アイ・エス、(株)九州博報堂、西部ガスホールディングス(株)、ディップ(株)、ハウステンボス(株)、(株)福岡銀行、三井住友トラスト不動産(株)、(株)日本経済新聞社



参加企業7社による
パネルディスカッション
参加企業の代表者が一堂に会し、多くの質問にユーモアを交えながらも真剣に回答し、学生たちに向けて具体的なアドバイスが送られました。



カジュアル交流&
キャリア相談ブース
学生が気軽に本音で企業相談できるよう設置され、ざっくばらんに活発な交流が行われました。



コラボレーション説明会
「キャリア・プロジェクト」の受講学生が企画・運営を担当。企業との打ち合わせや当日の会場運営、司会進行だけでなく、事前に各企業の人事担当者へインタビューを行って冊子も制作しました。

附設だより



附設の情報はこちら

8月28日、久留米アリーナにて高校体育祭を開催しました。

今年度の体育祭スローガンは、「Nexus(ネクサス)」。「つながり」を意味するこの言葉には、

- ① 団員同士のつながりを深め、一致団結して勝利を目指すこと
 - ② 学校全体のつながりを大切に、全員で最高の体育祭を作り上げること
- という2つの熱い思いが込められています。

企画立案から当日のスムーズな進行・運営に至るまで、実行委員会を中心とした生徒たちが主体となって作り上げました。当日は多くの保護者の皆様にもご来場いただき、会場は生徒たちの熱気とあたたかい声援に包まれました。

熱戦! 各競技ハイライト!



仲間を信じて、
声の限りに応援!



応援合戦

～創意と団結のパフォーマンス～

各団が趣向を凝らした演舞や掛け声で、会場を圧倒! 練習の成果を存分に発揮し、観客を魅了しました。



まだまだ続く! 白熱の競技たち



高校体育祭を開催!

Nexus

つながりを力に、
最高の体育祭に!

開会式



石橋校長先生のご挨拶

選手宣誓!!

体育委員長コメント

今年の体育祭はアリーナ開催3年目ということで、これまでの集大成となるよう準備を進めてきました。去年から行う競技の種類を変えるだけでなく、同じ競技でも玉入れの力ゴを人が背負って逃げるなど面白くなるように工夫しました。結果として大いに盛り上がりましたし、楽しい体育祭になったと思います!



応援合戦は
黒団が優勝!

総合優勝は... 青団!



大学は自分を作る場所。未来の起業家へ!

アサヒくん(以下、ア) 福永ゼミでは「起業」について研究していると聞きました。小学生の僕でも分かりますか?

福永文夫教授(以下、福) こんにちは、アサヒくん。もちろん分かりやすく説明するよ。このゼミでは「アントレプレナーシップ(起業家精神)」を学んでいるんだ。自分で新しいビジネスのアイデアを考えて、チームで本物の事業計画をつくる実践的な授業をしているよ。

ア 自分のアイデアを事業にするって、なんだかワクワクします。

福 そつだよね。計画を立てるときには、Chat GPTなどの「生成AI」も積極的に使うよ。今年は地元の高良山竹林環境研究所」と協力して、竹林の現場に行つて作業をしました。そこからヒントを得たり、AIとアイデアを出し合ったりして、冬に開催される「久留米ビジネスコンテスト」での優勝を目指しています。去年は「マイナースポーツのためのECサイト」を提案した先輩が、見事に企業賞ももらったんだ。

ア AIも使うなんてかっこいい。ゼミに参加するにはパソコンやビジネスの特別なスキルが必要ですか?

福 いいえ、特別なスキルは全く必要ないよ。大事なのは「これをやってみよう」という熱意や、部活でもアルバイトでも何かに本気で取り組んだ経験があること。そんな熱い気持ちを持った学生たちが集まっているんだ。

ア ゼミの雰囲気はどんな感じですか?

福 実はね、このゼミはちょっとルールが厳しいんだ。無断欠席が3回あったら失格だし、教科書を忘れたら欠席扱いになる。

これは、社会人として必要な「約束を守る力」や「準備する習慣」を学生のうちに身につけてほしいと考えているからです。

ア みんな真剣に参加しているんですね。福 そつです。でも、この前みんなで高良山に登つて竹林整備のお手伝いをしたときは、一致団結して盛り上がったよ。締めるところは締めて、協力するときは全力で楽しむメリハリがあるゼミです。

ア 厳しいルールがあるからこそ、お互いに信頼できるんですね。先生がゼミで一番大切にしていることは何ですか?

福 知識を修得すること以上に、ゼミを通して社会人として立派に育つてほしいと思っています。AIは「答え」を作ってくれるけど、大学は「自分」を作る場所なんだ。AIを賢く使いこなせる、自分の軸を持った人になってほしいと思っています。

ア 『大学は自分を作る場所』かあ、深いなあ。ばくも将来、福永ゼミで勉強して新しいビジネスに挑戦してみたくありませんか?

福 アサヒ君のアイデアもきつといいカタチになるよ、がんばってください。



昨年の久留米ビジネスコンテスト出場の様子

【研究室データ】

研究テーマ(主なもの)

- ・アントレプレナーシップ教育における生成AI導入の効果
- ・批判的実在論と経営学
- ・進化論的経営学の研究

メンバー

教授/福永 文美夫(ふくなが ふみお) /
4年生:3人/3年生:4人/2年生:6人

当ゼミの 石垣島のシティボーイ

石垣島出身です。卒業後は、本気でペンション経営を考えています。そのために福永ゼミに入りました。このゼミは、AIを活用したビジネスプランを作成しビジネスコンテストに挑戦できます。いつか石垣島で皆さんをお迎えします!



こにし こじろう
小西 虎次朗さん



地震や水害だけではない「災害」

病院が備えるべき災害は、地震や水害だけではありません。核(Nuclear)・生物(Biological)・化学(Chemical)物質による「NBC災害」も、その一つです。こうした災害では、汚染された傷病者が病院に搬送される可能性があり、通常の救急搬送とは異なる対応が求められます。例えば、汚染を院内に広げないための動線を確保し、必要に応じて除染を行った上で治療につなげる必要があります。久留米大学病院では、こうした特殊災害にも対応できるよう、NBC災害を想定した訓練を実施。8月の訓練では、除染テントの設営や、原子力災害が発生した場合を想定した傷病者の受け入れ、処置までの流れを実際に確認しました。



訓練を重ねて、強いチームをつくる



災害時には、普段の診療では考えられない状況が次々と起こります。患者さんをどこから受け入れるのか、どこで除染するのか、必要な資機材はどこにあるのか。さらに、医師や看護師だけでなく、事務職員やさまざまな職種が、それぞれの役割を理解して動く必要があります。だからこそ、実際に体を動かして訓練することで、マニュアルを読むだけでは分からない課題も見えてきます。訓練のたびに対応を確認し、必要な部分を見直していく。その積み重ねが、実際の災害発生時に「動ける」体制につながります。今後もさまざまな災害を想定した訓練を重ね、職種を越えて連携し、いざという時に力を発揮できるチームづくりに取り組んでいきます。

久留米大学病院は、災害時に多くの傷病者を受け入れる災害拠点病院です。高度救命救急センターを備え、重症患者の救命にあたるほか、福岡県内で唯一ドクターヘリを配備し、離れた地域からの患者搬送にも対応しています。また、災害派遣医療チーム(DMAT)の隊員も在籍し、被災地での医療活動にもあたります。7月に熊本で発生した災害の際にもDMATが現地へ派遣されました。災害が起きた時に院内で患者を受け入れるだけでなく、必要に応じて医療チームを被災地へ派遣することも、災害拠点病院の重要な役割です。



地域の災害医療を支えるさまざまな機能

地震や大規模事故など、いつ起こるか分からない災害。久留米大学病院は、地域の災害医療を支える「災害拠点病院」としての取り組みを紹介しています。今回は、いざという時に備え、日頃から行っている災害拠点病院としての取り組みを紹介します。

いざという時に備える、災害拠点病院の取り組み



食べるチカラ!

レシピ開発者は
この方たち!

こんどう ひろのぶ
近藤 広伸 さん(調理師)
しらしい とも み
白石 智巳 さん(管理栄養士)



パフォーマンスUPを応援!
手軽に作れる「スポーツ補食」

枝豆とチーズの
塩昆布おにぎり

簡単タコス風おにぎらず

フローズン ミックスベリー バナナヨーグルト

材料 (1人分)

バナナ.....1本
ベリーミックス(冷凍) ...60g
プレーンヨーグルト ...200g
はちみつ.....15g

作り方

- 皮を剥いて3等分にしたバナナのうち、2つ分をジップロックへ、手でつぶし、ヨーグルトとはちみつを加えてよく揉み込む。
- 残りのバナナをサイコロ状に切る。ベリーミックスと一緒にジップロックへ加え、全体を混ぜ合わせる。
- 平らにならして冷凍庫で約4時間冷凍。前日に仕込んでおく、朝そのまま持ち出せて便利。
- 持ち運びの準備(スプージャーを使う理由)
スプージャーは冷たいものを長時間保つため、使用前に氷水を入れて3分ほど予冷しておく。
- 冷凍したヨーグルトを軽く揉み崩し、予冷したスプージャーへ入れて完成。

ワンポイント

- スプージャーは、使用前に氷水を入れて3分予冷すると保冷力がアップ♪
- 冷凍したヨーグルトを軽く揉み崩してスプージャーへ入れると、約6時間冷たさをキープできます。

簡単タコス風おにぎらず

材料 (1人分)

白飯.....200g
合い挽き肉100g
油.....5g
焼肉のたれ15g
スライスチーズ1枚
レタス.....1枚
トマト1/4個
(ミニトマトでもOK)

作り方

- フライパンに油を熱し、合い挽き肉を炒める。色が変わるまでしっかり火を通し、焼肉のたれを加えて味付けする。
- トマトを薄切りにする。
- ラップの上に海苔を置き、中央にご飯の半量を広げる。
- ご飯の上に、レタス→挽き肉→スライスチーズ→トマトの順に重ねる。
- 残りのご飯をのせて全体を包む準備をする。
- 海苔の四隅を内側へ折り込み、ラップでしっかり包んで形を整える。
- ラップのまま半分に切れば完成。

枝豆とチーズの塩昆布おにぎり

材料 (1個分)

白飯.....150g
枝豆(むきみ・冷凍)30g
プロセスチーズ1個
塩昆布ひとつまみ

作り方

- チーズを5mm角ほどのブロック状に切る。手でちぎってもOK。
- 解凍した枝豆の水分をしっかり拭き取る。
- 温かい白飯に、枝豆・チーズ・塩昆布をざっくり混ぜ、おにぎりにする。

パフォーマンスを高める 補食のコツ

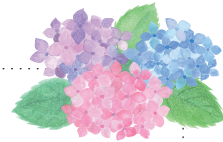
人間健康学部
スポーツ医科学科
まつ なが ゆたか
松永 裕 准教授

スポーツ活動時の補食は、3食だけでは不足しやすいエネルギーや栄養素を補い、運動中のパフォーマンス維持や運動後の回復を支える上で大切です。私たちの身体は、摂取した糖質をグリコーゲンとして筋肉や肝臓に貯蔵しています。運動時にはこのグリコーゲンがエネルギーとしてたくさん使われます。そのため、運動前後には糖質を適切に補うことが重要となります。また、特に運動後は消費したグリコーゲンの回復を促す糖質に加え、筋肉の修復や合成に必要なたんぱく質を組み合わせていることがポイントになります。おにぎりやバナナ、ヨーグルトなどを、運動量や次の食事までの時間に合わせて選びましょう。補食は競技レベルの高いアスリートだけのものではありません。趣味のスポーツでも、必要なエネルギーを適切に補うことが、疲労の蓄積を防ぎ、日々のコンディショニングにつながります。スポーツの秋、補食を味方につけて楽しく元気に身体を動かしましょう。

知っ得コラ!

本連載は、久留米大学五十年史の編集委員長を務められた中村昌弘名誉教授の執筆内容(『第一編 久留米大学五十年史』第一章「九州医学専門学校の創立」)を基に、創立期のドラマを読みやすくリライトしたものです。
2028年に迎える創立100周年の節目を前に、本学の原点にある情熱の足跡を皆さんと分かち合いたい。一人の医師が描いた夢から激しい誘致合戦、そして開校に至る熱い物語を、全7回にわたってお届けします。

～『久留米大学五十年史』でたどる原点～



プロローグ 歴史が動いた、あの日

筑

紫次郎——筑後川の大河の如く、歴史はとうとうと流れていく。何のわだかまりもなく、ただ過ぎ去っていく時の流れ。しかし、その悠久の流れの中には、必ずいくつかの「決定的瞬間」が存在する。時にそれは、人為を遠く越えた大きな力によって引き寄せられるかのようだ。

久

積み重ねられてきた試行錯誤の結実か。それとも、突然の自然現象のような偶然か。いずれにせよ一度その瞬間が訪れば、社会も個人もそこから新しい出発を余儀なくされる。

決

留米大学の歴史にも、まさにその「決定的瞬間」があった。

昭和2年11月5日、午後7時25分——土曜日。一日中曇り、午後からは時雨が断続的に降る、うすら寒い秋の日。

午後4時、福岡市因幡町にある福岡県医師会事務所の2階会議室で、第4回創

立委員会総会が始まった。議題は、医専の設立地をどこにするか。久留米か、それとも福岡か。この日に至るまで、両市は一歩も譲らず、激しい誘致合戦を繰り広げていた。

すべての始まりは、その年の6月。雨の降る一日、福岡市にある一軒の家の2階、12畳の間。

そこにはまだ、学校も、土地も、校舎も、病院もない。ただ一人の医師の頭の中に、まだ名前も場所もない学校の姿が浮かんでいた。

白亜のビルディング——。

久留米大学誕生の物語は、そこから始まる。



創立当初の久留米大学本館



みんなのアイデアで創立100周年を盛り上げよう!!

あなたのアイデアが、100周年の企画になるかも?

2028年、久留米大学は創立100周年を迎えます。

学生、卒業生、教職員、地域のみなさん——

久留米大学に関わるすべての人と一緒に、100周年をお祝いしたい。

「こんなイベントをやりたい!」

「こんなことができれば面白そう!」

「100周年だからこそ、こんなことをしてみたい!」

そんな、あなたのアイデアを募集します。



募集期間

2026年10月1日～10月31日

応募方法

下記のアンケートフォームまたは右記QRコードからご応募ください。
<https://forms.gle/XDqtzn3b9QAcuxv8>

※いただいたアイデアは、今後の100周年記念事業の参考とさせていただきます。すべてのアイデアの実現をお約束するものではありません。



第4回

あの日の仲間と、いまの母校をつなぐ一日。

久留米大学ホームカミングデー開催報告

第4回久留米大学ホームカミングデーを9月6日、旭町キャンパスで開催し、同窓生やそのご家族にご参加いただきました。

ホームカミングデーは、同窓生の皆さまを母校へお迎えし、学び舎を懐かしんでいただくとともに、恩師やご友人との交流を深め、また、現在の久留米大学を知っていただく機会として開催しています。
受付を済ませた参加者は、ウェルカムドリンクを片手に、久しぶりに顔を合わせた旧友や恩師と近況を語り合うなど、和やかなひとときを過ごしました。



歓迎式典

午後1時から、筑水会館イベントホールで歓迎式典を開催しました。
式典は医学部内科学講座(腎臓内科部門)の深水圭教授の司会で進行了。冒頭、内村直尚理事長・学長が「皆さまにとって絆を確かめる一日となるよう、また、大学としては創立100周年に向けた新たなスタート地点となるよう」と、参加者への歓迎の言葉を述べ、続いて、2つの記念講演が行われました。

01.「がんを防ぐ運動療法」

医学部整形外科学講座 平岡弘二教授

最新の知見をもとに、健康な身体づくりにつながる「がんを防ぐ運動療法」について解説しました。がんの予防や再発リスクの低減において、運動習慣が果たす役割に注目が集まっています。



02.「仲間といまを共に生きる」

文学部心理学科 安永悟教授

教育心理学を専門とする研究・実践を踏まえ、人と人が共に学び合う「協同学習」について紹介。仲間とのつながりがもたらす学びや幸福について、心理学の視点から分かりやすく紹介しました。



創立100周年に向けて

記念講演後には、内村理事長・学長が「創立100周年を迎える大学の取り組み」と題して、大学の将来に向けた取り組みを紹介。2027年4月に予定されている学部改編をはじめ、2028年の創立100周年に向けて進めている記念事業などについて説明し、参加者は、変わりゆく久留米大学の「いま」と、これからの歩みに耳を傾けました。



歓迎式典の締めくくりには、医学部管弦楽部によるスペシャルコンサートが行われ、最後は管弦楽部の演奏に合わせて、参加者全員で久留米大学校歌を斉唱しました。母校への懐かしい思いを胸に、会場が一つになって校歌を歌い上げました。



CAMPUS TOUR

変わった景色、変わらない記憶。



懐かしい仲間や恩師との再会を喜び、母校の現在を知るとともに、久留米大学のこれからに思いを寄せる一日となりました。
ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



次の項目についてお答えいただきました。

- 



- ① 2026年7月1日
- ② 久留米大学大学院 医学研究科 博士(医学)
- ③ 循環器内科
- ④ 循環器内科学・疫学・予防医療
- ⑤ 生活習慣病・動脈硬化・栄養などに関する疫学研究(田主丸研究・宇久島研究)
- ⑥ 長年の住民検診のデータから、健康に関する様々な知見を発信してきました。大学病院では人間ドック健診を担当し、みなさまの健康維持・増進を支援いたします。



- ① 2026年7月1日
- ② 久留米大学医学部医学科 博士(医学)
- ③ 放射線医学
- ④ 画像下治療(IVR)
- ⑤ 動脈性出血、動静脈奇形、子宮筋腫に対するIVR治療
- ⑥ カテーテルを用いた画像下治療(IVR)の診療・研究に携わってきました。緊急症例や治療困難な動静脈奇形、子宮筋腫などの診療に取り組み、今後もIVRの発展と次世代を担う人材育成に尽力してまいります。



附設中学校・高等学校

百人一首部が 全国大会で輝かしい実績

今夏、全国高校選手権の団体戦に初出場し、見事準優勝を果たしました。さらに、中学全国大会には福岡県代表として選抜され優勝を達成。全国高等学校総合文化祭でも福岡県チームのメンバーとして選抜・優勝を果たすなど、各大会で目覚ましい活躍を見せました。



附設中学校・高等学校

上通さんが国際天文学オリンピック 日本代表に選出

第5回日本天文学オリンピックで金賞を受賞した高校2年生の上通一見さんが、第19回国際天文学・天体物理学オリンピックの日本代表に選ばれました。大会は9月25日よりハノイで開催されました。世界に挑む上通さんの活躍に大きな期待が寄せられています。

学生の活躍

パラクライミング日本代表として 国際大会へ出場

人間健康学部スポーツ医科学科1年の二橋真音衣さんが、パラクライミングの日本代表として、10月29日から韓国・群山(グンサン)で開催される「World Climbing Paraシリーズ(L)2026・グンサン」に出場します。



大学の取組み

御井キャンパスで 学食2割引きで提供

物価高騰による学生の経済的負担を軽減するため、御井キャンパスにて学食メニューを2割引きで提供します。対象は学部生・留学生別科生・大学院生で、9月24日～12月23日の授業実施日に実施します。



人間健康学部

学生が合同で 「かけっこ教室」を開催

総合子ども学科とスポーツ医科学科のゼミ生が合同で、子ども向け「かけっこ教室」を開催しました。学生たちは学科ごとの専門性を活かしながら走り方の指導を行い、実践を通して新たな学びを深めました。



法学部

「法学部カフェ —就活編—」を開催

内定を獲得した4年生や県庁勤務の卒業生から、リアルな就活体験談やアドバイスを聞ける「法学部カフェ」を1～3年生を対象に開催しました。参加した学生たちは、ドリンクを片手にリラックスした雰囲気の中で交流し、今後の就職活動へ踏み出す貴重な機会となりました。



経済学部

スリランカへの 海外研修を実施

経済学部の海外研修スリランカコース(担当:富吉満之准教授)で、学生たちが8月27日から9月6日まで現地研修を行いました。研修では、現地で開催された日本祭の企画や運営にも携わり、交流を通して異文化への理解を深めました。



商学部

「鳥栖市みんなの学校」 校長に学生が就任

佐賀県鳥栖市との包括連携協定に基づき「鳥栖市みんなの学校」が開校し、7月16日に学校長任命式が行われました。商学部4年の増野祥さんが学校長に就任し、今後は学生ボランティアサークル「team.csv」が主体となってIT人材育成などの講座やイベントを企画運営し、地域の活性化に取り組んでいきます。



医学部医学科

医学部教育棟のイメージパース公開 29年度に新校舎の共用開始へ

創立100周年事業の一環として、医学部校舎の老朽化や耐震課題に対応し、新教育棟を建設します。3学科の交流スペースや図書館併設により学習環境を統合し、2029年度の使用開始を目指します。



医学部看護学科

佐賀県鳥栖市と連携し小学生向け 頭蓋骨工作教室を実施

鳥栖市で開催された小学生夏休み教室にて、看護学科の嵯峨教授と学生7名が運営に協力しました。嵯峨教授が企業と共同開発した「ミニ頭蓋骨ペーパークラフト」を用い、子どもたちが楽しみながら人体への興味を深める場となりました。学生にとっても、地域交流を通じて学びを実践する貴重な機会となりました。



医学部医療検査学科

学校火災や災害に備え、 初の学生参加型防災訓練を実施

久留米市消防署協力のもと、9月15日に医療検査学科では初の学生参加型防災訓練を実施しました。近年多発する火災や自然災害への対応力を高めるため、参加した学生たちは万一の事態に備えて真剣な表情で訓練に取り組みしました。



文学部

久留米警察署の依頼で学生が 自転車・バイクの防犯啓発動画を制作

久留米市内での自転車・バイクの盗難被害の増加を受け、久留米警察署の依頼により情報社会学科の学生有志が防犯啓発動画を制作し、伊藤慈晃講師が監修しました。学生自らが企画から撮影、編集まで手掛けた本動画は、地域や学内の防犯意識向上を目指し、今後学内および久留米市内で放映される予定です。

大学の取組み

熊本県と「UIJターン就職支援に 関する連携協定」を締結

9月3日、本学は熊本県と、UIJターン就職支援に関する協定を新たに締結しました。今後、県内企業等の情報や就職支援情報の周知、各種学内就職イベント、保護者向け就職セミナー、インターンシップ受入支援など幅広い分野で連携・協力し、学生への継続的な情報提供体制と就職支援をさらに充実させることで、熊本県への人材還流と地域への定着を目指します。



医療センター

地域住民と楽しむ 「青峰よりみち広場」を開催

医療センターでは、青峰校区まちづくり振興会と協働で「青峰よりみち広場」を毎月2回開催しています。7月22日に行われた多世代交流イベントでは、作業療法士によるダンス運動療法や非常時の備蓄食の配布、医療スタッフによる健康相談などを通して、地域住民との絆と健康意識を深める機会となりました。



研 究

安倍秀幸主任技師が 「日本臨床細胞学会 技師賞」を受賞

病理部の安倍秀幸主任技師が「2025年度 日本臨床細胞学会 技師賞(学術部門)」を受賞しました。全国で毎年1名のみが選出される荣誉ある賞で、液状化検体細胞診の有用性などの立証や研究・論文発表・教育・学会活動の多岐にわたる功績が高く評価されました。



教員の活躍

保健管理センターの大江准教授が 福岡県警より感謝状を贈呈

大江美佐里准教授が福岡県警察本部長感謝状を贈呈されました。10年以上にわたり警察学校での講義や被害者支援等を行い、精神科医の専門知識を生かして貢献。過酷な現場に臨む警察官へのメンタルヘルス支援活動も高く評価されました。



Topics

久留米大学の
こんなこと、あんなこと

大学の取組み

福岡BC推進会議と共同記者会見、睡眠関連製品の開発支援事業を開始

本学は9月3日、福岡BC(バイオコミュニティ)推進会議と共同記者会見を開き、新規事業「睡眠関連製品開発支援事業」の開始を発表しました。本事業では、本学の豊かな睡眠研究の実績を活かした新プラットフォーム「K-SHIP(Kurume Sleep & Healthcare Innovation Platform)」を通じ、企業の製品やサービス開発を一体的に支援します。会見には本学、福岡BC、福岡県商工部、久留米市の代表者が登壇し、それぞれの立場から期待と抱負を表明。本学は科学的エビデンスに基づく支援を行うことで、健康寿命の延伸や地域産業の活性化、さらにはアジアにおけるスリープテック拠点の形成を目指します。



大学の取組み

夏のオープンキャンパスを開催

高校生などに向けて、大学での学びや研究、学生生活を紹介するオープンキャンパスを、医系の旭町キャンパス、文系の御井キャンパスで7月から8月にかけて実施しました。説明会や模擬授業、学部や学科それぞれの体験コーナー、個別相談会、キャンパスツアーなど、在学生もスタッフとして多数参加し、オープンキャンパスを盛り上げました。



会場の様子(御井キャンパス)



ドクターヘリ見学(医学科)



先輩看護師との交流(看護学科)



細菌標本の観察体験(医療検査学科)



キャンパスツアー(御井キャンパス)

久留米大学は、

「九州国立博物館キャンパスメンバーズ」に加盟しています。



学生証または**教職員証(名札)**の提示により割引を受けることができます。
割引は入館料以外にも多数用意されていますので、ぜひご利用ください。

詳しくはこちら▶



主な特典

- 文化交流展(平常展)が無料**
会員期間中何回でも、平常展を無料観覧できます。
- 特別展が割引料金**
特別展に割引料金で入場できます。
- 「九州国立博物館メンバーズプレミアムパス」の割引**
定価より1000円安く購入できます。
- レストラン、カフェ、ミュージアムショップの割引**



九州国立博物館



学生及び
教職員の皆様は
入館無料

〈対象施設〉
久留米市美術館、石橋正二郎記念館
〈対象者〉
学部生、大学院生、教職員
※美術館受付で、学生証等をご提示ください
※久留米市美術館主催展覧会は高校生以下無料



久留米市美術館
KURUME CITY ART MUSEUM
ISHIBASHI CULTURAL CENTER

開館時間／10時～17時
(入館は16:30まで)
休館日／月曜日
(祝日・振替休日は開館)



久留米大学は、久留米市美術館のキャンパスパートナー校です

WEBアンケートにご協力ください

読者の皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。
いただいたアンケートの内容は今後の誌面づくりに
活用させていただきます。

アンケートは
こちらから

読者プレゼント アンケートにご回答いただいた方の中から
抽選で5名の方にプレゼント

今回のプレゼント **5名**

ちょっぴり嬉しいお小遣い

全国で使える
「QUOカード1,000円分」



応募締切／2026年11月15日

※当選者の発送は、商品の発送をもって代えさせていただきます

※応募の際の個人情報は、商品の発送と誌面づくりの参考としてのみ使用いたします

EQUAL No.216のアンケート結果!!

(一部抜粋)

あなたが気に入った企画を教えてください
(複数選択可)

1 巻頭特集 猛暑を科学する

- ・読みやすく要点がわかりやすかったため。
- ・シエスタが日本にも広まって欲しい。暑くて外、出れないよ。
- ・暑いから有休を取る、そんな発想がなかったから、とても面白かった。
- ・いろんな科の先生方が知れて良かったです。

2 拝啓 17歳の私

- ・過去と現在の自分について、学生の声が現学生にも後輩にも参考になる。
- ・自分に置き換えてみて、自分の現在を考えるきっかけになったので良かった。

3 食べるチカラ

- ・夏でもしっかり食べれるレシピで、自分も作ろうと思いました。

アンケートに参加してプレゼントを当てよう!!

あなたの声が掲載されるかも!? アンケートの結果は次号で発表!

第17回

SDGs

久留米大学

持続可能な社会の実現に向けて
大学が取り組むプロジェクトを紹介します!

子どもたちに笑顔を運ぼう! 学生たちの演奏ボランティア

3

すべての人に
健康と福祉を

10

人や国の不平等を
なくそう

音楽には、心を和ませ、人と人との距離を近づける力があります。学生ボランティア団体「のだめ弦楽合奏団」は、音楽を通じて人の心に寄り添う活動を続けています。8月には久留米大学病院の小児病棟で、入院中の子どもたちとご家族を対象にコンサートを開催。当日は学生たちがバイオリンなどの弦楽器を奏で、子どもたちは打楽器や手拍子で参加しました。さらに、会場まで来られない子どもたちにも音楽を届けようと、終了後には病室前の廊下でも演奏。病室から演奏に耳を傾ける子どもたちやご家族にも、優しい音を届けました。



子どもたちに弦楽器の音色を
届ける学生たち

打楽器や手拍子で
演奏を楽しむ親子



病室前の廊下からも
音楽を届けました

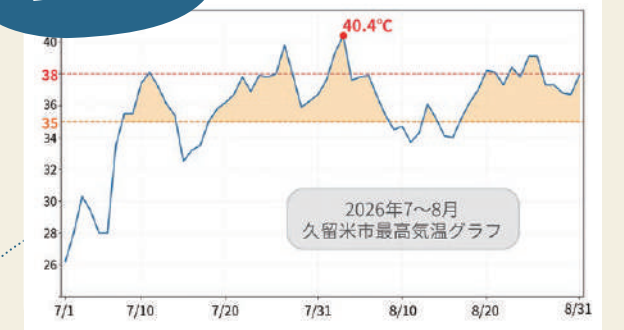
第17回

まちとアルK



まちなかで見た久留米大学の姿を広報室がレポートします!

暑すぎて減。



今年の夏、久留米は暑かった。7～8月の2か月間を振り返ってみると、なんと62日中46日(75%)は最高気温35℃を上回る猛暑日。発熱時の体温38℃以上の日は10日あり、8/3には40.4℃を叩き出した。休む暇のない暑さだった。お盆前後で少し涼しくなったと感じていたが、記録を見返すと35℃を下回っただけで「涼しい」と感じるほどに異常な暑さだったのだ。



犬のいる我が家のエアコンは稼働しっぱなし。朝夕も容赦なく暑いので、老犬は散歩に行き渋り、冷えた床にラグマットのごとく張り付いて動かない。今年は最高気温40℃以上の日を「酷暑日」とする新しい予報用語ができ、8月31日までの時点で、全国の酷暑日観測地点数は36地点に達したそうだ。今年の暑さを体感して言えるのは、38℃を超える日は自分の身体を生かすことに多くのエネルギーが使われるので、それ以外のパフォーマンスはかなり落ちるということ。とにかく涼しい場所で冷たいものを摂って休みたい。うちの犬とそう変わらない。



水道からはお湯が出ていた。道路脇のツツジは茶色く枯れた。熱中症警戒アラートは連日「危険」を示し水の祭典パレードは中止となった。そう、今年の久留米は暑かった。暑すぎて「まちとアルK」なのに歩けなかったことをご容赦願いたい。減!(A.S)